



## I コマンド

---

この章では、I で始まる Cisco NX-OS ホットスタンバイ ルータ プロトコル (HSRP) コマンドについて説明します。

# ip (HSRP)

HSRP グループに仮想アドレスを指定するには、**ip** コマンドを使用します。グループの HSRP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**ip** [**autoconfig** | *ip-address* [**secondary**]]

**no ip** [**autoconfig** | *ip-address* [**secondary**]]

## 構文の説明

<b>autoconfig</b>	(任意) リンクローカル プレフィックスと修正 EUI-64 形式のインターフェイス識別情報からリンクローカル アドレスを生成します。ここで、EUI-64 インターフェイス識別情報は関連する HSRP 仮想 MAC アドレスから作成されます。
<i>ip-address</i>	(任意) 仮想ルータの仮想 IP アドレス (HSRP グループ)。この IP アドレスはインターフェイス IP アドレスと同じサブネット内になければなりません。その HSRP グループ内の 1 つ以上のルータに仮想 IP アドレスを設定する必要があります。グループ内の他のルータはこのアドレスを選択します。IP アドレスには IPv4 アドレスを指定できます。
<b>secondary</b>	(任意) IPv4 アドレスがセカンダリ HSRP 仮想アドレスであることを示します。

## コマンドデフォルト

ディセーブル

## コマンドモード

HSRP コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

設定済みのインターフェイスに対して HSRP をアクティブにするには、**ip** コマンドを使用します。仮想 IP アドレスを設定する場合、そのアドレスは HSRP グループ全体の専用 IP アドレスになります。IPv4 グループの場合は、仮想 IP アドレスが設定されていない場合は、ゲートウェイは同じ HSRP グループ内の別のゲートウェイから仮想 IP アドレスを取得します。HSRP が Active Virtual Gateway (AVG; アクティブ仮想ゲートウェイ) を選択できるようにするには、その LAN 上の 1 つ以上のゲートウェイに仮想 IP アドレスを設定する必要があります。

AVG に仮想 IP アドレスを設定すると、現在使用されている仮想 IP アドレスが上書きされます。

インターフェイス上で IPv4 HSRP グループ用に **ip** コマンドを設定すると、プロキシ Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 要求の処理方法が変更されます (プロキシ ARP がディセーブルに設定されていない場合)。ホストは IP アドレスを MAC アドレスにマッピングするために ARP 要求を送信します。HSRP ゲートウェイは、ARP 要求を代行受信し、接続先ノードの代わりに ARP 要求に応答します。HSRP グループのフォワーダがアクティブである場合、プロキシ ARP 要求への応答には、グループ内の最初のアクティブ フォワーダの MAC アドレスが使用されます。アクティブなフォワーダがない場合、プロキシ ARP 要求は停止されます。



(注)

**ip** コマンドを使用して仮想 IP アドレスを割り当て、HSRP グループをアクティブにする前に、すべての HSRP オプションを設定する必要があります。これにより、グループを初めてイネーブルにする際にコンフィギュレーションの作成が遅れても、他のルータに認証エラー メッセージや不測の状態変更が生じるのを避けることができます。常に IP アドレスを指定することを推奨します。

**例**

次に、イーサネット インターフェイス 1/1 上でグループ 10 用の HSRP をアクティブにする例を示します。HSRP グループで使用される仮想 IP アドレスは、192.0.2.10 に設定されます。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip address 192.0.2.32 255.255.255.0
switch(config-if)# hsrp 10
switch(config-if-hsrp)# ip 192.0.2.10
```

次に、イーサネット インターフェイス 2/1 上でグループ 10 用の HSRP をアクティブにする例を示します。HSRP グループで使用される仮想 IP アドレスは、同じ HSRP グループに属するように設定された別のゲートウェイから取得されます。

```
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# hsrp 10
switch(config-if-hsrp)#
```

次に、イーサネット インターフェイス 1/1 上でグループ 2 用の HSRP をアクティブにし、インターフェイス上のセカンダリ IP アドレスを作成する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip address 20.20.20.1 255.255.255.0 secondary
switch(config-if)# ip address 10.10.10.1 255.255.255.0
switch(config-if)# hsrp 2
switch(config-if-hsrp)# ip 10.10.10.2
switch(config-if-hsrp)# ip 20.20.20.2 secondary
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>feature hsrp</b>	HSRP の設定をイネーブルにします。
<b>show hsrp</b>	HSRP 情報を表示します。

